

WPI

```

.Ti - Network information accessing program for Internet - involves indicating
      specified displayed information about site, based on which symbol for
      access of site is read-out and transferred to access unit
AB - JP11265397 NOVELTY - Information about site stored in a data holder is
      displayed and specified displayed information is indicated, based on
      which symbol for access of site is read-out by a notice unit (12) and is
      transferred to access unit, where the information is accessed by a WWW
      browser (1). DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included
      for the following: information access procedure; information access
      apparatus
      - USE - For Internet.
      - ADVANTAGE - Operativity can be improved, as symbol for access of site is
        transformed to access unit, easily. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The
        figure shows a block diagram of network accessing information storage
        apparatus. (1) WWW Browser; (12) Notice unit.
      - (Dwg.1/15)
PN - JP11265397 A 19990928 DW199952 G06F17/30 G08pp
PR - JP19980068379 19980318
PA - (CANO ) CANON KK
MC - T01-H T01-J05B
DC - T01
IC - G06F13/00 ;G06F17/30
AN - 1999-606282 [52]

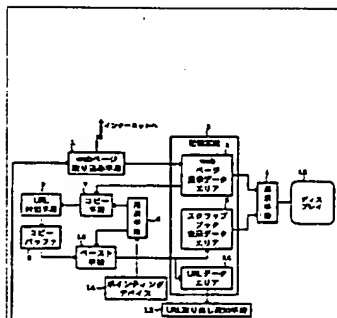
```

## PAJ

```

TI      - STORAGE MEDIUM, INFORMATION ACCESSING METHOD AND ITS DEVICE
AB      - PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to easily execute information
        accessing operation.
        - SOLUTION: The information of a site specified in a network by a uniform
        resource locator(URL) and accessed and displayed by a WWW browser 1 or
        the like is pasted to a scrapbook and displayed and the URL of the site
        having the information is stored in a storage device 2. When the
        information displayed by the scrapbook is specified, a URL extraction
        informing means 12 reads out the URL of the site having the specified
        information from the device 2 and informs the browser 1 of the read
        contents.
PN      - JP11265397 A 19990928
PD      - 1999-09-28
ABD     - 19991222
ABV     - 199914
AP      - JP19980068379 19980318
PA      - CANON INC
IN      - HASHIKURA HIDEKI
I       - G06F17/30 ;G06F13/00

```



<First Page Image>

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-265397

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月28日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30  
13/00

3 5 4

G 0 6 F 15/40  
13/00  
15/403

3 1 0 F  
3 5 4 A  
3 1 0 B  
3 8 0 C

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-68379

(22) 出願日 平成10年(1998) 3月18日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 橋倉 英樹

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

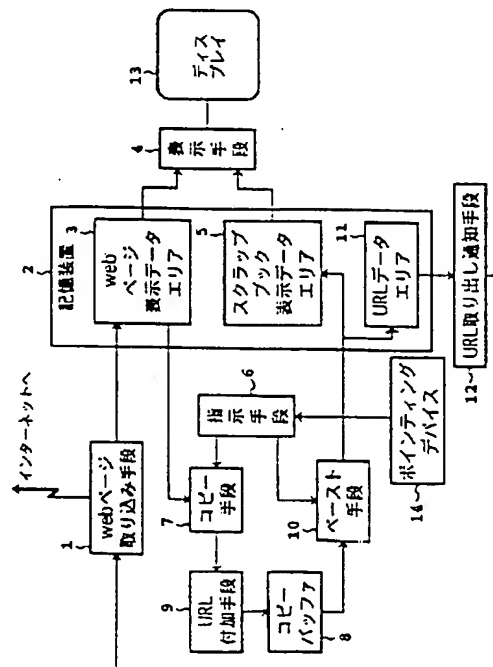
(74) 代理人 弁理士 谷 義一 (外1名)

(54) 【発明の名称】 記憶媒体、情報アクセス方法、および情報アクセス装置

(57) 【要約】

【課題】 記憶媒体、情報アクセス方法、および情報アクセス装置に関し、アクセスの操作を容易にすること。

【解決手段】 URLにより特定されるネットワーク中のサイトにWWWブラウザ1等によりアクセスさせ表示させた当該サイトの情報をスクラップブックにペーストさせて表示させるとともに、この情報を有するサイトのURLを記憶装置2に記憶させる。スクラップブックにより表示させた情報を指示されると、URL取り出し通知手段12は指示された情報を有するサイトのURLを記憶装置2から読み出してWWWブラウザ1に通知する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータに、  
アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスさせ表示させた当該サイトの情報をデータ保持手段にペーストさせて表示させるとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶させる記憶ステップと、  
前記データ保持手段により表示させた前記情報を指示される指示ステップと、  
前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知ステップとて実行させてネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体、  
【請求項2】 請求項1において、  
前記記憶ステップは、  
前記アクセス手段から前記情報を取り込み、前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号と共に記憶させる第1記憶ステップと、  
前記記憶させた前記情報と前記アクセス用符号を取り出すステップと、  
前記アクセス用符号を記憶デバイスに対応符号と共に記憶させ、かつ前記情報を前記記憶デバイスの表示データエリアに前記対応符号と共に記憶させる第2記憶ステップとを含むことを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体、  
【請求項3】 請求項2において、  
前記通知ステップは、  
前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識ステップと、  
前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を認識する第2認識ステップとを含むことを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体、  
【請求項4】 アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスさせ表示させた当該サイトの情報をデータ保持手段にペーストさせて表示させるとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶させる記憶ステップと、  
前記データ保持手段により表示させた前記情報を指示される指示ステップと、  
前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知ステップとて実行してネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とする情報アクセス方法、  
【請求項5】 請求項4において、  
前記記憶ステップは、  
前記アクセス手段から前記情報を取り込み、前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号と共に記憶させ

る第1記憶ステップと、

前記記憶させた前記情報と前記アクセス用符号を取り出すステップと、

前記アクセス用符号を記憶デバイスに対応符号と共に記憶させ、かつ前記情報を前記記憶デバイスの表示データエリアに前記対応符号と共に記憶させる第2記憶ステップとを含むことを特徴とする情報アクセス方法、

【請求項6】 請求項5において、

前記通知ステップは、

前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識ステップと、  
前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を認識する第2認識ステップとを含むことを特徴とする情報アクセス方法、

【請求項7】 アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスして表示した当該サイトの情報をペーストして表示するとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶する記憶手段と、

前記ペーストして表示した前記情報を指示させる指示手段と、

前記指示させた前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知手段とを備え、ネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とする情報アクセス装置、

【請求項8】 請求項7において、

前記記憶手段は、

前記アクセス手段より前記情報を取り込み、前記アクセスさせたサイトの前記アクセス用符号と共に記憶する第1手段と、

前記記憶させた前記情報を読み出し、記憶デバイスの表示データエリアに書き込む第2手段とを備えることを特徴とする情報アクセス装置、

【請求項9】 請求項8において、

前記通知手段は、

前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識手段と、  
前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を認識する第2認識手段とを備えることを特徴とする情報アクセス装置、

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は記憶媒体、情報アクセス方法、および情報アクセス装置に関し、特に、ネットワークに散在する情報に容易にアクセスするためのプログラムを記憶した記憶媒体、当該プログラムにしたがった情報アクセス方法、および当該方法を実行するための情報アクセス装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータを用いたインターネットにおいてWWW (World Wide Web) サイトの情報にアクセスするには、たとえばNetscape Navigator (Netscape社)、Internet Explorer (Microsoft社)、NCSA Mosaic (イリノイ大学NCSA)等のビューワ (viewer) ソフトが一般に広く利用されている。ビューワ・ソフトはWebブラウザと称されるが、本明細書中では単にビューワと記す。これらビューワにより、インターネットで接続された世界各地に散在するWWWサイトの情報にアクセスし、ホームページ等 (Webページ) を表示画面で見ることができる。Webページには有用な情報が表示されることも多く、その一部、または全部を保持しておきたい場合もある。

【0003】そこで、たとえばMacintoshシステムでは、必要な情報をビューワにおいてオペレータの手でコピーしてスクラップブックにペーストして保持しておくことができ、システムを再起動した後もスクラップブックを参照することでこの情報を再度利用できるようになっている。したがって、後日、スクラップブックを参照して再度利用できる情報は、当然ながらオペレータがペーストを指示した情報に限られる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記のような従来のものでは、スクラップブックを参照した際に、保持されている情報以外の関連する他の情報を見たいという要求があったときには、たとえばWebページ情報のネットワークにおける存在場所を示すURL (Uniform Resource Locator) をビューワに入力して再度アクセスし、アクセスしたWWWサイト全体の情報を見る必要がある。このため、アクセスするための操作が煩雑になり、URLを記憶、記録してない場合には見たいWebページにアクセスして所望の情報を得ることもできないという課題があった。

【0005】そこで、本発明は上述の点に鑑みて成されたもので、ネットワークに散在する情報に容易にアクセスするためのプログラムを記憶することで上記の課題を解決した記憶媒体、当該プログラムにしたがった情報アクセス方法、および当該方法を実行するための情報アクセス装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載の本発明の記憶媒体は、コンピュータに、アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスさせ表示させた当該サイトの情報をデータ保持手段にペーストさせて表示させるとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶させる記憶ステップと、前記データ保持手段により表示させた前記情報を指示される指示ステ

ップと、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知ステップとを実行させてネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とするプログラムを記憶したものである。

【0007】ここで、請求項2に記載の本発明の記憶媒体では、請求項1において、前記記憶ステップは、前記アクセス手段から前記情報を取り込み、前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号と共に記憶させる第1記憶ステップと、前記記憶させた前記情報と前記アクセス用符号を取り出すステップと、前記アクセス用符号を記憶デバイスに対応符号と共に記憶させ、かつ前記情報を前記記憶デバイスの表示データエリアに前記対応符号と共に記憶させる第2記憶ステップとを含むものである。

【0008】ここで、請求項3に記載の本発明の記憶媒体では、請求項2において、前記通知ステップは、前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識ステップと、前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を認識する第2認識ステップとを含むものである。

【0009】上記目的を達成するために、請求項4に記載の本発明の方法は、アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスさせ表示させた当該サイトの情報をデータ保持手段にペーストさせて表示させるとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶させる記憶ステップと、前記データ保持手段により表示させた前記情報を指示される指示ステップと、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知ステップとを実行してネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とする。

【0010】また、請求項5に記載の本発明の方法は、請求項4において、前記記憶ステップは、前記アクセス手段から前記情報を取り込み、前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号と共に記憶させる第1記憶ステップと、前記記憶させた前記情報と前記アクセス用符号を取り出すステップと、前記アクセス用符号を記憶デバイスに対応符号と共に記憶させ、かつ前記情報を前記記憶デバイスの表示データエリアに前記対応符号と共に記憶させる第2記憶ステップとを含むものである。

【0011】また、請求項6に記載の本発明の方法は、請求項5において、前記通知ステップは、前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識ステップと、前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの

前記アクセス用符号を認識する第2認識ステップとを含むものである。

【0012】上記目的を達成するために、請求項7に記載の本発明の装置は、アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセス手段によりアクセスして表示した当該サイトの情報をペーストして表示するとともに、前記情報を有する前記サイトのアクセス用符号を記憶する記憶手段と、前記ペーストして表示した前記情報を指示させる指示手段と、前記指示させた前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を読み出して前記アクセス手段に通知する通知手段とを備え、ネットワークにおける情報アクセスを行うことを特徴とする。

【0013】また、請求項8に記載の本発明の装置は、請求項7において、前記記憶手段は、前記アクセス手段より前記情報を取り込み、前記アクセスさせたサイトの前記アクセス用符号と共に記憶する第1手段と、前記記憶させた前記情報を読み出し、記憶デバイスの表示データエリアに書き込む第2手段とを備えるものである。

【0014】また、請求項9に記載の本発明の装置は、請求項8において、前記通知手段は、前記記憶デバイスの前記表示データエリアを参照し、前記指示された前記情報を認識する第1認識手段と、前記記憶デバイスを参照し、前記認識した前記情報の前記対応符号に基づき、前記指示された前記情報を有する前記サイトの前記アクセス用符号を認識する第2認識手段とを備えるものである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0016】(第1の実施の形態)図1は本発明の第1の実施の形態を示すブロック図であり、演算装置としてのCPU、RAM等の主記憶装置、各種ROM、各種ディスク記憶装置等の補助記憶装置を備えた一般的なハードウェア構成のパーソナルコンピュータにビューワ機能とスクラップブックの機能を実行させ、かつ、本発明の特徴的な機能をソフトウェア的に追加することにより実現することができる。なお、スクラップブックの機能は、スクラップブック以外の他の、システムの電源を一旦停止しても情報を保持可能な同様のアプリケーションにより実現してもよい。

【0017】図1において、手段と称するものはソフトウェアにより実現される機能であるが、Webページ取り込み手段1は本発明の特徴に係わるものではないので、その詳細な説明を省略する。他のソフトウェア手段は本発明の特徴的な機能である。

【0018】2は記憶装置、3は記憶装置2のWebページ表示データエリア、4は表示手段、13はディスプレイ装置である。記憶装置2はスクラップブック表示エリアとURLデータエリア11をさらに有しており、

EEPROM等で構成することによりシステムの電源を一旦停止しても記憶データを保持するようになっている。また、14はマウス等のポインティングデバイス、8はコピーバッファである。

【0019】Webページ取り込み手段1は、オペレータが入力、指示したURLを基にビューワによりインターネットに接続して通信を行い、アクセスしたWWWサイトの該当ページ情報を取り込み、Webページ表示データエリア3に表示データを展開する。表示手段4は、この表示データを読み出してディスプレイ装置13に該当ページ情報を表示させる。これにより、ビューワのウィンドウに該当ページ情報が表示されることになる。

【0020】指示手段6によりWebページ表示データエリア3の表示データの一部を選択し、コピー手段7によりコピーバッファ8に表示データをコピーする。この際、URL付加手段9は、指示手段6により選択された表示データに現在アクセス中で表示されているWebページのURL情報を付加し、両者をコピーバッファ8にコピーして一時記憶する。

【0021】指示手段6により、選択した表示データのWebページ表示データエリア3へのペースト位置を指示すると、ペースト手段10は、コピーバッファ8から表示データとURL情報を読み出し、表示データを指示されたペースト位置に、URL情報をURLデータエリア11に記憶させ、保持させる。これにより、スクラップブックのウィンドウの指示されたペースト位置に該当ページ情報が表示されることになる。

【0022】次に、オペレータがビューワを利用して前回アクセスしたWWWサイトとは別のWWWサイトにアクセスする場合か、オペレータがビューワの利用を一旦終了して再度ビューワによりアクセスするか、あるいは一旦コンピュータの利用を停止してからコンピュータを再起動したときに、ビューワを利用してWWWサイトにアクセスする場合について説明する。

【0023】オペレータがスクラップブック等の参照を行った際に、指示手段6により「より詳細な参照」または「全体の参照」に該当する操作を行うと、URL取り出し通知手段12によりURLデータエリア11のURL情報を取り出し、URL情報をWebページ取り込み手段1に通知する。

【0024】Webページ取り込み手段1は、通知されたURLによりアクセスして、インターネットのこのURLにより特定されるWWWサイトの該当ページ情報を取得する。そして、取得した情報を記憶装置2のWebページ表示データエリア3に展開して、前述のとおりディスプレイ装置13のビューワのウィンドウに該当ページ情報が表示されることになる。

【0025】ここで、ビューワからスクラップブックにペーストする動作について、図2ないし図9を参照して詳細に説明する。

【0026】図2はディスプレイ装置13の表示画面においてコピー範囲の指定とペースト位置の指定を行う一例を示している。図3ないし図5は、コピーとペーストを行うときのコピー手段7、URL付加手段9、ペースト手段10による各処理のフローチャートを示している。

【0027】図2のビューフウィンドウ21に表示された情報のうち任意範囲の文字列情報22をオペレータがコピー範囲として選択、指示すると、コピー手段7は、指示手段7により指示されたコピースタート位置を認識し（図3のステップ31）、指示手段7により指示されたコピーエンド位置を認識し（ステップ32）、スタート位置からエンド位置までの文字列情報「社長プレゼン」を取り込み（ステップ33）、取り込んだ文字列情報をURL付加手段9に通知する（ステップ34）。

【0028】URL付加手段9は、通知されたコピー範囲の表示情報をWebページ取り込み手段1から受け取り（図4のステップ41）、現在アクセス中で表示されているWebページのURL情報をURLデータエリア11から取り込み（ステップ42）、表示情報（Webページデータ）とURL情報を図6に示す記録フォーマットでコピーバッファ8に一旦書き込む（ステップ43）。

【0029】ペースト手段10は、コピーバッファ8からURL情報を取り出し（図5のステップ51）、取り出したURL情報を図7に示す記録フォーマットでURLデータエリア11に書き込む（ステップ52）。URL情報は、対応番号と共に書き込む。

【0030】さらに、コピーバッファ8からURL情報以外のWebページデータ等を取り出し（ステップ53）、取り出したWebページデータを図8に示す記録フォーマットでスクラップブック表示エリア5に書き込む（ステップ54）。Webページデータは、対応番号と共に書き込む。ここで書き込む対応番号は、Webページデータを有するWWWサイトを特定するURL情報と共にステップ52で書き込まれたものと同一であればよく、アルファベット等を含む符号でもよい。

【0031】ペースト手段10がスクラップブック表示エリア5にWebページデータを書き込むと、表示手段4により読み出し、図2のスクラップブックウィンドウ23のカーソル24で指定されたペースト位置に表示させる。

【0032】ここで、図9は表示画面においてコピーした範囲をペーストする様子を示しており、スクラップブックウィンドウ23のカーソル24の指定位置に文字列情報22がペーストされ表示される様子を示す。

【0033】次に、たとえばオペレータが、後日、ビューフを利用して以前アクセスしたWWWサイトとは別のWWWサイトにアクセスしているときに、再度このWWWサイトにアクセスし直す場合について詳細に説明する。

【0034】図10に示すディスプレイ装置13の表示画面では、ビューフでアクセス中のあるWWWサイトのWebページの情報がビューフウィンドウ21に表示されており、スクラップブックウィンドウ23にはスクラップブック表示エリア5に保持されている各種の情報が表示されている。

【0035】スクラップブックが保持する情報のうち、文字列情報22の項目の表示をポインティングデバイス14で指示して「より詳細な参照」を指示すると、文字列情報22を有するWWWサイトを特定するURL情報がURL取り出し通知手段12により取り出されてWebページ取り込み手段1に通知される。

【0036】図11は、URL通知取り出し手段12による上記処理の流れを示すフローチャートである。

【0037】文字列情報22の項目をポインティングデバイス14で指示されると、ステップ111において、記憶装置2の表示データエリア3を参照して指示された情報を認識する。ステップ112では、表示データエリア3を参照して指示された情報の対応番号を認識する。ステップ113では、記憶装置2のURLデータエリア11を参照して、ステップ112で認識した対応番号に対応するURLを認識する。ステップ114では、ステップ113で認識したURLを取り出してWebページ取り込み手段1に通知する。

【0038】そして、Webページ取り込み手段1は以前にアクセスしたWWWサイトに、通知されたURLによりアクセスしてWebページ情報を取得し、Webページ表示データエリア3に展開し、このWebページ情報が図12の通りにビューフウィンドウ21に詳細にその全体を表示される。

【0039】このように本実施の形態によれば、一度アクセスしたWWWサイトが有する情報の任意の一部を範囲指定してスクラップブックに保持し、保持した情報とアクセスしたWWWサイトのURLを対応させて共に記憶しておき、他のWWWサイトにアクセス中にスクラップブックの表示を参照して保持した一部の情報を指示することによりURLを取り出すようにしたので、このURLをWebページ取り込み手段1に通知して、簡単な操作により以前アクセスしたことのあるWWWサイトの全情報への再アクセスを容易に行うことができ、操作性を大いに高めることができる。

【0040】（第2の実施の形態）本実施の形態では、ビューフでアクセスしたWWWサイトのWebページからコピーしてスクラップブックにペーストされる情報中に、アクセスしたWWWサイトのリンク先の所在地等の情報が含まれる場合について説明する。

【0041】本実施の形態では、図3のコピー手段7による処理のフローチャートの指示された範囲の情報を取り込むステップ33において、コピー範囲のリンク先情報（URL）も同様に取り込むようにした。また、図5

のペースト手段10による処理のステップ53において、Webページデータと共にURLも取り出し、ステップ54において、取り出したWebページデータと共にリンク先のURL情報もスクラップブック表示エリアに書き込むようにした。

【0042】図13はビューフウィンドウの表示のコピー指定範囲中にリンク先の所在地情報が存在している場合のスクラップブックウィンドウの表示の一例を示す説明図である。

【0043】ビューフウィンドウ（図示せず）の表示からコピーされペーストされた文字列情報120中には、下線部のリンク先情報121が含まれている。このリンク先情報121は、以前アクセスされて文字列情報120を提供したWWWサイトが、別のWWWサイト「小杉事業所」とリンクしていることを表している。

【0044】図13のスクラップブックウィンドウ130の表示において、文字列情報120の表示部分をポインティングデバイス14で指示すると、この文字列情報120を提供したWWWサイトのオリジナルなWebページが図14の通りにビューフウィンドウ140に表示される。リンク先情報121の表示部分を指示すると、リンク先の「小杉事業所」のWebページが図15の通りにビューフウィンドウ150に表示されることになる。

【0045】すなわち、アクセスして取得したWebページデータの文字列情報中にリンク先の情報が存在し、このリンク先情報を含んで同時にスクラップブックにペーストされた場合には、スクラップブックの表示からリンク先サイトに直接アクセスしてWebページを参照することができる。

【0046】本発明方法は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの異なる装置に適用しても良い。また、本発明方法はシステム或いは装置にプログラムを供給することによって達成される場合にも適用できることは言うまでもない。この場合、本発明方法を達成するためのソフトウェアによって表されるプログラムを格納した記憶媒体をシステム或いは装置に読み出すことによって、そのシステム或いは装置が、本発明方法の効果享受することが可能になる。

【0047】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明によれば、アクセス用符号により特定されるネットワーク中のサイトにアクセスし表示した当該サイトの情報をデータ保持手段にペーストして表示し、この情報を有するサイトのアクセス用符号を記憶しておき、データ保持手段により表示させた情報を指示されると、この情報を有するサイトのアクセス用符号を読み出してアクセス手段に通知するようにしたので、アクセス手段は、以前にアクセスしたサイトへのアクセスを通知されたアクセス用符号により容易に行うことができるので、操作性を向上させ

ることができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態を示すブロック図である。

【図2】第1の実施の形態におけるコピー範囲の指定とペースト位置の指定を行う表示画面の一例を示す説明図である。

【図3】第1の実施の形態におけるコピー手段による処理の流れを示すフローチャートである。

【図4】第1の実施の形態におけるURL付加手段による処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】第1の実施の形態におけるペースト手段による処理の流れを示すフローチャートである。

【図6】第1の実施の形態におけるコピーバッファでの表示情報とURL情報の記録フォーマットを示す説明図である。

【図7】第1の実施の形態におけるURLデータエリアでのURL情報の記録フォーマットを示す説明図である。

【図8】第1の実施の形態におけるスクラップブック表示エリアでのWebページデータの記録フォーマットを示す説明図である。

【図9】第1の実施の形態におけるコピーした範囲をペーストする表示画面の一例を示す説明図である。

【図10】第1の実施の形態においてあるサイトにアクセス中にスクラップブックの表示を指示して以前アクセスしたサイトのURLを取り出す際の表示画面の一例を示す説明図である。

【図11】第1の実施の形態におけるURL通知取り出し手段による処理の流れを示すフローチャートである。

【図12】第1の実施の形態においてスクラップブックの表示からアクセスしたサイトの詳細ページ情報を表示する表示画面の一例を示す説明図である。

【図13】第2の実施の形態においてビューフウィンドウの表示のコピー指定範囲中にリンク先情報が存在している場合のスクラップブックウィンドウの表示の一例を示す説明図である。

【図14】第2の実施の形態におけるスクラップブックに文字列情報を提供したサイトのオリジナルなWebページの表示を示す説明図である。

【図15】第2の実施の形態におけるリンク先のWebページにスクラップブックの表示から直接アクセスする様子を示す説明図である。

【符号の説明】

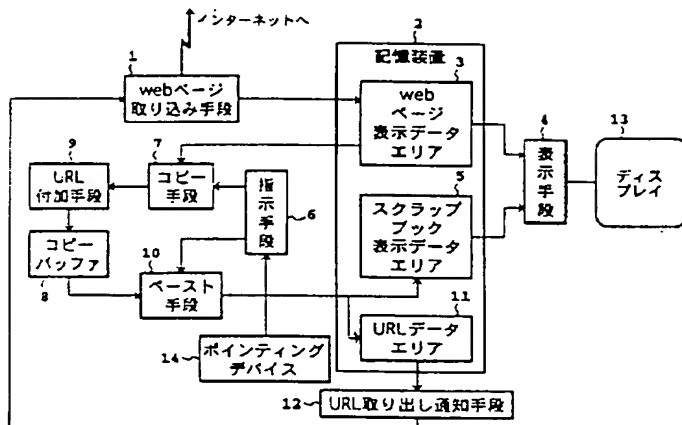
- 1 Webページ取り込み手段
- 2 記憶装置
- 3 Webページ表示データエリア
- 4 表示手段
- 5 スクラップブック表示エリア
- 6 指示手段



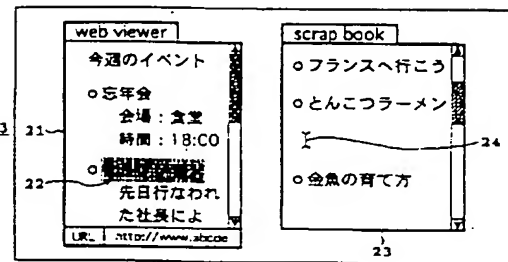
- 7 コピー手段
- 8 コピーバッファ
- 9 URL付加手段
- 10 ペースト手段
- 11 URLデータエリア
- 12 URL取り出し通知手段
- 13 ディスプレイ装置

- 14 ポインティングデバイス
- 21、140、150 ビューフウィンドウ
- 22、120 文字列情報
- 23、130 スクラップブックウィンドウ
- 24 カーソル
- 121 リンク先情報

【図1】



【図2】



【図7】

URLデータエリア

対応番号	URL
1	http://www.abcd.com.jp
2	http://www.asayu.com
3	http://www.hoby.co.jp
4	
...	
n	

【図3】

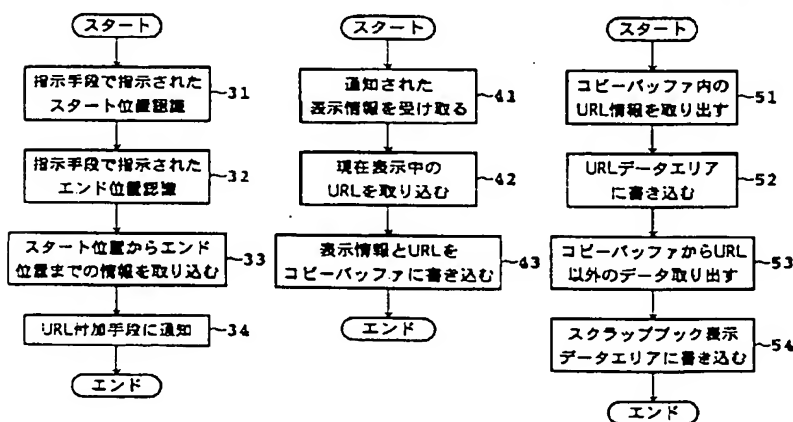
【図4】

【図5】

コピー手段の処理

URL付加手段の処理

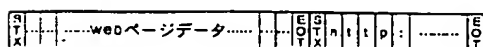
ペースト手段の処理



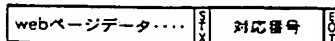
【図6】

【図8】

コピーバッファ

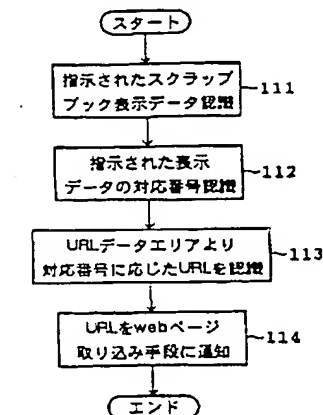


スクラップブック表示データエリア

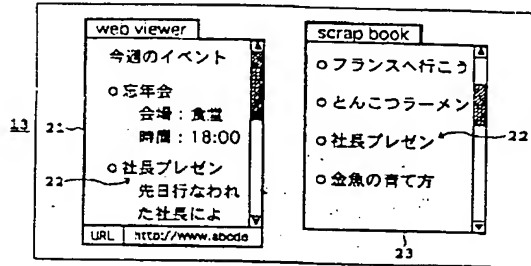


【図11】

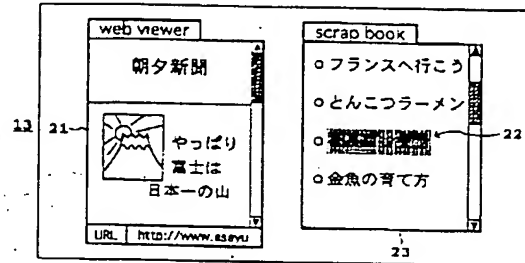
URL取り出し通知手段の処理



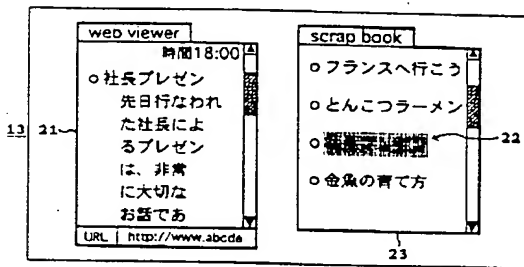
【図9】



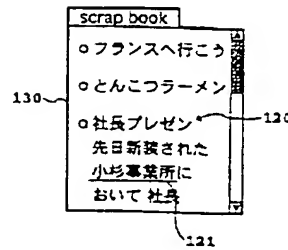
【図10】



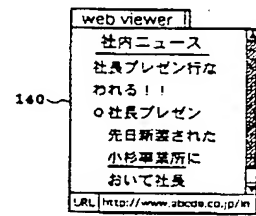
【図12】



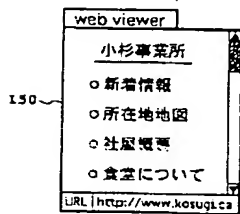
【図13】



【図14】



【図15】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**